

Doing から Being へ ～あなたが何かできるから、何かをするから大切なのではなく、あなたがここにいてくれること それ自体が大切なのです～

言葉を大切に

誰にとっても気持ちのいいあいさつが交われ、
「あったか言葉」「前向き言葉」があふれる

学校教育目標

人権尊重の精神を基調とし、社会において信頼される
人間性豊かな生徒の育成を目指す
豊かに、たくましく そして 創造的に

生徒の可能性を信じる

教育目標の実現を目指し、生徒の可能性を信じ、
よさ（強み）と課題を明確に

⇨ 課題を踏まえ、教育活動の充実を図る

清泉中大好き！ 生徒はもちろん、教職員、保護者も

めざす学校像【生徒にとっても教職員にとっても、さらには家庭・地域にとっても
「真に楽しく」、「学び、集いあえる」学校】

- 1 学校は「成長を実感できる場」
- 2 学校は「自己実現できる場」
- 3 学校は「夢や希望をはぐくむ場」
- 4 学校は「安心して安全に生活できる場」
- 5 学校は「『意外性』と『多様性』を生かしていく場」

「4」について補足：安心感があり安全な学校生活（集団生活）を送るためには、ルールを守り（ダメなものはダメ）、マナー（互いを思いやる心）のある環境が重要。その環境を教職員・生徒・保護者・地域、みんなでつくっていく

めざす教師像【15歳の生徒の姿に責任をもつ教師】

- 1 生徒一人一人を大切にする教師（声を聴く、対話から導き出す）
- 2 1時間1時間の授業を大切にする教師（声を聴く、授業の質を向上する）
- 3 生徒・家庭・地域から信頼される教師（声を聴く、自らの背中ではるかに示す）
- 4 「和」を重んじ、チームのために自己の力を発揮できる教師
（自分の考えを適切に伝える、仲間の声を聞く、意思を統合する）
- 5 清泉中を愛する教師（清泉プライド！）



学校経営

- ◇清泉中学校の教職員として組織的に考え、行動
- ◇社会に開かれた教育課程（コミュニティ・スクールの利点）
- ◇誰一人取りこぼさない教育の実践
- ◇障がいの有無に関わらず特別支援教育を礎に
- ◇「つよいつながり」だけではなく「ゆるい（柔軟な）つながり」を意識

その他

- ◇校内の言語環境を重視
- ◇生徒に関わる大人が範を示す姿勢
- ◇教師も「学び」ことを楽しむこと
- ◇授業の質を向上し、生徒に丁寧かつ誠実に向き合うために、教師自身「ライフ・ワーク・バランス」を重視



令和7年度の重点

学習指導

- ◇自らの考えを生かす「学び」（主体的な学び）
- ◇「何のために」を意識する「学び」（目的意識）
- ◇個別最適な「学び」
（指導の個別化、学習の個性化、ICT の効果的な活用）
- ◇協働的な「学び」（対話的な学び、問題解決に向けた協働）
- ◇つまずきをチャンスに次の手立てを考える「学び」
（自己調整力の育成）

「学校が楽しい」「ここにいていいんだ」という

安心感をもち、生徒たちが「笑顔で学校に通う」学校

生活指導

- ◇生徒との対話（非言語含む）を通じた生徒理解
- ◇誰にとっても分かりやすく、丁寧で、明確な指示
- ◇規範意識のある自己肯定感、自己有用感を醸成
- ◇いじめをはじめとする諸問題 見逃し「0」未対応「0」
- ◇主体的に考え、他者（時に自分）との対話を通じて判断、行動
- ◇自分の可能性やよさ（強み）を考える場面設定
- ◇体験活動や地域人財（材）とのふれあい、学ぶ機会

特別活動

- ◇自治的活動として委員会を活性化
- ◇生徒が考え、決定し、実行する（守る）活動を重視
- ◇どの生徒も大切な一員であることを意識できる環境
- ◇生徒の「よさ」や強みを生かし、可能性を引き出し伸ばす
学級経営、部活動経営